

文化芸術交流実験室

2018/4 — 2018/9

Culture and Arts Exchange Laboratory



トークセッションとワークショップがセットとなった

新しい切り口のシリーズ企画です。

岡山県内の分野横断的な交流の

プラットフォームを目指します。

これまでになかった素敵な化学反応を、

みんなで起こしてみませんか？



各回：定員 30 名

当企画は、お昼をはさんでおりますため、
各回内容に合わせてのランチ付きです。

(ランチ代 1,000円は当日お支払いください)



architecture

town planning

performing arts

welfare

education

photography

music

literature

cultural assets

history

traditional performing arts

food



local vitalization cooperator

international exchange

art

video

calligraphy



craft

design

fashion

tea ceremony · flower arrangement

分野を超えてつながることから

生まれるものを期待して



おかやま文化芸術アソシエイツでは平成29年度より、岡山県内の優れた文化・芸術資源の掘り起こしや、その価値を県民の皆様に再認識していただけるよう、調査研究事業を開始しました。

調査の過程で得られる新たな情報や、人材データをもとにして、文化・芸術と他分野との連携による新たな取り組みの提案や、ソーシャルインクルージョンの視点も盛り込んだレクチャーとワークショップを定期的に開催し、県内の人材や文化資源の領域横断的な出会いの場の創出と、ネットワーク構築を目指します。

この実験室に期待するのは、文化芸術コミュニティ内での交流はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化芸術の創造性を生かして、新しい取り組みが始まり、すべての人が文化芸術を楽しむことができる岡山が生まれることです。

主催：おかやま文化芸術アソシエイツ（公益社団法人岡山県文化連盟）
・岡山県

問い合わせ先：086-234-2626



平成30年度
文化芸術創造拠点
形成事業



大月ヒロ子

おかやま文化芸術アソシエイツ
プログラム・コーディネーター

武蔵野美術大学卒業後、板橋区立美術館学芸員として数多くのワークショップや展覧会を企画。その後独立して有限会社イデアを設立。九州国立博物館「あじっば」、国立歴史民俗博物館「たいけんれきはく」、大阪府立大型児童館big bang他で、コミュニケーションを誘発する新しい学びの場のデザインに取り組む。平成25年、倉敷市玉島の実家を改装して、日本で初めてのクリエイティブリユース（庭や企業から日常的に生み出される廃材をそのまま破棄せず、人のクリエイティビティー（創造性）を使って、これまでに見たこともないような素敵なモノに生まれ変わらせる取り組み）の拠点「IDEA R LAB」を開設し、全国から注目を浴びている。「IDEA R LAB」を中心としたコミュニティづくりは、これからの時代の地域づくりのあり方にも一石を投じることを予感させる。

www.facebook.com/IDEARLAB



おかやま文化芸術アソシエイツとは

岡山県文化連盟が持つ既存のネットワークを生かして、地域で生活する我々がその地域の文化を構成する資源（ヒト、コト、場所、お金等）についてよく知り、地域の未来を見据えた新たな価値の創造と多様なステークホルダーの共生について思考するために平成29年度から始動した地域アーツカウンシル機能です。プログラム・コーディネーターに大月ヒロ子さんを迎え、様々な取り組みを始めています。



公益社団法人 岡山県文化連盟

おかやま
文化芸術アソシエイツ



お申し込みはwebサイトより

www.o-bunren.jp/lab-form

Hiroko Otsuki



「画材から見る日本の絵画」

水彩絵の具や油絵の具には触れることがあっても、岩絵具を使う機会はほとんどない人が多いはず。屏風や掛け軸に使用されている画材を紐解き、自分で作ったり、使ってみれば、画材が土地の恵みと密接に繋がっていることがわかります。岡山県立美術館には、画材はもとより制作の過程までわかる画材ボックスが作られています。五感をフルに働かせて画材と向き合うと、表現の仕方も変わってくるかもしれません。ワークショップでは、描くことのない人にとっても、十二分に楽しめる素材体験をします。描かれたものを見る楽しさも倍増するでしょう。

講師：森山知己（日本画家、倉敷芸術科学大学 教授）*1
降旗千賀子（目黒区美術館 学芸員）
岡本裕子（岡山県立美術館 主任学芸員）
開催地：岡山県立美術館
関連分野：美術、書道、工芸、デザイン、教育、文化財

● 岡山県立美術館
岡山市北区天神町8-48
TEL：086-225-4800 WEB：okayama-kenbi.info

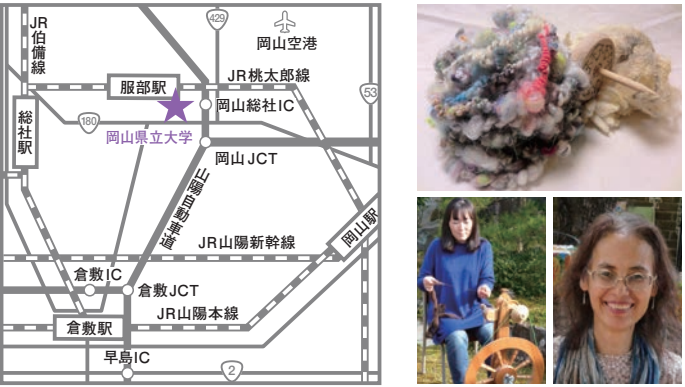


「糸紡ぎから広がる世界」

太古の時代から今に至るまで、糸と私たちの生活は切っても切れない深いつながりを持ちつづけています。しかし、家庭内での手仕事が廃れはじめて以降、糸と私たちの関係性は希薄になりました。原料から変容する過程を知るチャンスも激減しています。日々の生活の中に、糸から始まる物語を取り戻すこと、また、糸を使った自由な表現を楽しむ事など、このトークとワークショップを通して体験してみたいと思います。ワークショップでは映画『YARN人生を彩る糸』（yarn-movie.com）の上映も行います。映画のみご覧になることも可能です。（有料：一般500円）

講師：青島由佳（Kakara Woolworks 主宰）*1
難波久美子（岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科 教授）
開催地：岡山県立大学
関連分野：工芸、デザイン、ファッション、教育、メディア、写真、美術

● 岡山県立大学
総社市窪木111
TEL：0866-94-2111 WEB：www.oka-pu.ac.jp



「文化芸術の仕事で生きる」

文化芸術の世界で暮らす人は、どんな道筋をたどってそこに至ったのでしょうか。一般的なルートだけではないのが面白いところです。インドと日本を行き来しながら仕事する矢萩多聞さんは著書『偶然の装丁家』の中で、子どもの頃から今に至るまでの美術や人との関わりを綴っています。美術家の川埜龍三さんは学校の中で独自の立ち位置をとっていました。若者の活動を支える柏原拓史さんとともに、出会いが、人や仕事をどう作っていくのか考えてみたいと思います。ワークショップでユニークな本作りを楽しみます。

講師：矢萩多聞（画家、装丁家）*1
川埜龍三（芸術家/無職）*2
柏原拓史（NPO法人だっぴ 代表理事）*3
開催地：Jテラスカフェ（岡山大学構内）
関連分野：美術、文学、教育、デザイン、メディア

● Jテラスカフェ
岡山市北区津島中-1-1-1
TEL：086-253-0567 WEB：jtcafe.jp



「音楽と絵と映像と」

音楽の世界と絵の世界。それらを軽々と越境し行きつ戻りつする表現者たちがいます。一体どちらが先に生まれるのでしょうか？様々な表現者とのコラボをおこなうトウヤマさん。絵を描きつつ、音楽家のトウヤマさんと一緒に幻灯機を使ったランテルナムジカを続けるnakaban。トウヤマさんとのセッションもおこなうシンガー、ピアニストの当真さん。ワークショップでは、参加者の方々と様々な実験を行いたいと思います。音と絵と映像が混沌と一体化する世界を共に味わってみましょう。

講師：トウヤマタケオ（音楽家）*1
nakaban（画家）*2
当真伊都子（ピアニスト、ボーカリスト、コンポーザー）*3
開催地：倉敷市立美術館
関連分野：音楽、美術

● 倉敷市立美術館
倉敷市中央2-6-1
TEL：086-425-6034 WEB：www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam

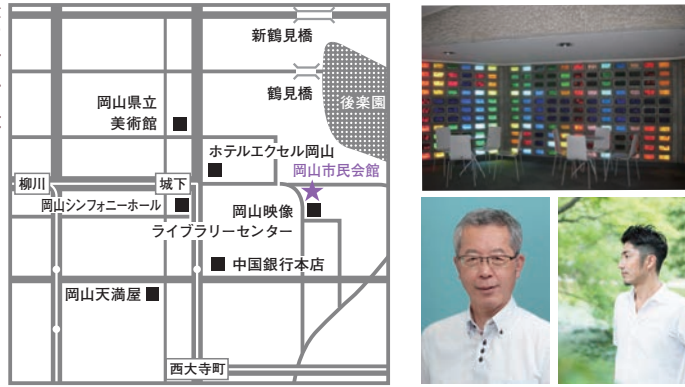


「建築探偵団 其の壺『会館』」

県内に点在する興味深い建築物を詳細に見ていき、その魅力や、コミュニティの中でどのような文化的役割をになってきたか、さらには、その新たな活用の可能性などを検証するシリーズです。第一弾として取り上げるのは、芸術文化の拠点として長らく愛されてきている岡山市民会館。そして、同じ建築家の設計である山陽放送会館です。この2つの建築に焦点を当ててます。また、ワークショップでは、改めてその魅力を多角度から探り、味わい尽くします。あることが当たり前であった建築の知られざるチャームポイントを皆で発掘してみましょう。

講師：石田尚昭（岡山市スポーツ・文化振興財団 常務理事）
弥田俊男（建築家、岡山理科大学工学部建築学科 准教授）*1
開催地：岡山市民会館、岡山映像ライブラリーセンター
関連分野：建築、まちづくり、写真、メディア、美術、教育、福祉、文化財

● 岡山市民会館
岡山市北区丸の内2-1-1
TEL：086-223-2165



「文化を伝えるグラフィックデザイン」

優れた活動で注目される瀬戸内市民図書館は、きちんとデザインされた広報戦略も見事です。グラフィックや写真を大切に考えた編集・デザインが、館のハードにもソフトにも浸透し、活かされています。文化施設においてデザインが担う役割を改めて考えてみたいと思います。瀬戸内市民図書館のデザインディレクションを担当された黒田さんや文化芸術交流実験室のグラフィックを担当されている川路さんに、仕事の舞台裏をうかがいます。ワークショップでは、グラフィックデザインや編集のコツなどを、実際に手と目を使って学びます。

講師：黒田武志（アートディレクター、造形作家）*1
川路あずさ（アートディレクター、デザイナー）*2
開催地：IDEA R LAB、TAMAYA TAMASHIMA
関連分野：美術、メディア、写真、デザイン、教育

● IDEA R LAB
倉敷市玉島中央町3-4-5
TEL：090-3234-3216
Facebook：IDEARLAB
● TAMAYA TAMASHIMA
倉敷市玉島中央町3-13-33
TEL：080-5117-4597
Facebook：tamaya.tamashima

